



市民をつなぐ党 目黒支部  
2023年3月号

# 後谷ちほ

うしろだに



新型コロナウイルス感染症対策として、令和5年3月13日以降、マスク着用は個人の判断が基本となる旨、厚生労働省から通達がありました。3年もの長きに渡るマスク着用期間は、子ども達の成長や発育に大きな代償を与えたことを、私達大人は深く受けとめなければなりません。私はコロナ禍をきっかけに政治参画を意識するようになりましたが、一人一人が物事の本質を見極めることは、このような激動の時代を生き抜くためには非常に重要で、生活に密着した地方政治から働きかけていくことこそ、私にとって使命となりました。「まずは地方議会から変えていきたい」という思いで目黒区政に挑戦しています。

市民による市民のための健全な政治づくり

平日の朝夕、目黒区内の駅で挨拶運動をしています



めぐろにみらいのたねをまく！  
後谷ちほの政治活動記



市民をつなぐ党では勉強会や講演会、シンポジウムを開催しています



リアルな繋がりを大切に！  
悩みや意見を気軽に話せる「お茶会」  
どなたでもご参加いただけます♪

イベント情報や活動報告更新してます

3月イベント  
参加者募集中

市民をつなぐ党HP



後谷ちほHP



公式LINE



● 3/4(土) 13:00~  
味噌づくりワークショップ  
八雲住区センター

● 3/24(金) 10:00~  
内海 聡によるzoom講演  
『2025年日本はなくなる part.2  
~政治や選挙への関わり方~』  
中目黒住区センター

※イベント詳細&お申し込みは  
公式LINEからお願いします

\* ボランティアスタッフを募集中です  
お気軽にお問い合わせください  
info@chihoushirodani.com



# 後谷 ちほの主な政策



## 子ども・子育て世代と共に育つ目黒

- ・子どもの居場所作り、プレーパーク作りを助成します
- ・フリースクールによる教育の選択性を拡大します
- ・学校や公園での危険な除草剤使用禁止を目指します
- ・食育推進、オーガニック給食の実現を目指します



## 若者世代・働く世代と共に立つ目黒

- ・中小零細企業・商店街店舗を支援します
- ・オーガニック事業立ち上げを助成します
- ・空き家の管理、活用事業を推進します



## シニア世代と共に歩く目黒

- ・コミュニティバスを実現します
- ・医療制度の見直しを計ります
- ・無駄な投薬、治療を減らし救急医療、予防医療を強化します



## 頼れる目黒

- ・地域の防犯防災力の強化
- ・NPOや団体、個人による自助コミュニティ作り扶助
- ・動物殺処分ゼロ



## 美しい目黒

- ・緑地化推進
- ・公園トイレの整備
- ・放置自転車ゼロ
- ・駐輪場の整備
- ・ゴミ、食料廃棄削減



## コロナの先へ

- ・新型コロナ感染症対策の抜本的見直し
- ・ワクチンハラスメント、マスク強要の防止
- ・コロナワクチン被害者救済窓口の設置



保育施設と介護福祉施設の融合を提案



市民をつなぐ党 目黒支部

## 後谷 ちほ (うしろだに ちほ)

**経歴** 1977年 兵庫県芦屋市生まれ  
武庫川女子大学附属中高短大卒  
明治安田生命保険(相)を経て  
エステサロン会社経営歴20年

**資格** 栄養士、薬膳アドバイザー、  
内海式薬害研究センター認定セラピスト  
CIDESCOインターナショナルエステティシャン

**血液型** AB型

**星座** さそり座

**動物占い** 黒ヒョウ

**趣味** 料理研究

**特技** 歌って踊ること

## 大切な税金を皆さんの生活のために

わたしは、目黒区の財政出動事例を洗い出し、その内容を皆さんと共有し、区の運営を自分事として一緒に考えていきたいと思っています。

目黒区の財政は、区の皆さんが負担している「住民税(=特別区税)」をはじめ、「国庫支出金」や「都支出金」といった税金を主な歳入(収入)として成り立っています。これらの歳入は、皆さんの生活をより良くするために活用されるべきものです。しかし、区政による財政出動(歳出)の内容は、区民の皆さんに分かりやすく伝わっていますでしょうか？

例えば、2020年の特別定額給付金は、新型コロナウイルスによる経済停滞への対応策として行われましたが、区の報告書を単純に捉えると、一件当たり178,000円が支払われたこととなります。これは、総務省が発表した「一人当たり100,000円」という内容と違いがあるのではないのでしょうか？

また、2023年度の子育て応援給付金の予算は、18歳以下の目黒区民全員を対象に、10,000円を一度限りで給付する内容です。2023年2月1日時点での該当者で計算すると、区が計上している予算と実態では、およそ1億円の差額があるのでは？と疑問が残ります。

そこで、区内各地域の既存の回覧板とSNS上で、財政情報をかみ砕いてお伝えし、定期的に勉強会を開き、区民の皆さんにお伝えする場を設けていきたいです。財政は、区政のあらゆる活動を支えるものです。その明細を丹念に調査して皆さんに共有し、目黒区というコミュニティの家計簿を、区民の皆さんと一緒に考えていきたいです。